

表31 北谷地区

記号	番号	名 称	学 校 名	設置年月日	寸 法 (m)	備 考
f	1	(開校七十周年記念)	旧北谷小学校	昭和41.11	1段 総高1.82×0.55×0.55	プレート
f	2	(記念植樹)	旧北谷小学校	昭和60.6.吉日	2段 総高0.90×0.14×0.10	
f	3	(校歌碑)	旧北谷小学校	平成10.8.吉日	2段 総高0.95×1.00×0.18	

表32 北谷地区学校沿革

設立年	西暦	学 校 名	場 所	備 考
明治7年	1874	溪嶮小学校	栃神谷	河合・木根橋・小原(一時3区で)・栃神谷・中尾・北六呂師6区で設立。～23年迄。栃神谷区は23年丸山小学校に入る
明治7年	1874	谷小学校	谷	谷区で設立。26年北谷小学校に統合
明治19年	1886	木根橋小学校	木根橋	河合・木根橋・小原3区で設立。～23年迄
明治20年	1887	杉山小学校	杉山	杉山・中野俣2区で設立。26年に北谷小学校に合併され27年分教場に
明治24年	1891	小原小学校	小原	小原区で設立。～昭和10年迄
明治24年	1891	河合小学校	河合	河合・木根橋・中尾・北六呂師4区で設立。27年廃校
明治26年	1893	北谷小学校	河合	河合・木根橋・谷・中尾・北六呂師5区で設立
昭和22年	1947	北谷小学校	河合	新学制。～平成9年迄
昭和22年	1947	北谷中学校	河合	～40年迄
平成10年	1998	かつやま子どもの村小学校	河合	
平成13年	2001	かつやま子どもの村中学校	河合	

f-1 (開校七十周年記念)



昭和四十一年十一月
贈 開校七十周年記念

藍綬褒章授賞者田中奥兵衛

施工 北谷小学校PTA

昭和四十一年…一九六六年。

f-12 (記念植樹)



勝山在住北谷郷友会
結成二十周年記念 植樹

(裏)

さくら さつき 昭和六十年六月吉日

f-13 (校歌碑)



記念碑

滝波の 岸へ

みどりに もえて

つどろ 我等の

生命は おどる

つどろ 我等の

生命は おどる

平成十年八月吉日建之

北谷小学校歴代PTA会長会

(裏)

平成九年三月三十一日
勝山市立北谷小学校が
一二〇年余の歴史の
幕を閉じ、翌年四月、
私立かつやま子どもの
村小学校が開校した。

平成九年…一九九七年。

表33 荒土地区

記号	番号	名称	学校名	設置年月日	寸法 (m)	備考
g	1	荒土小学校	希望	昭和60.3.吉日	不要	プレート
g	2	荒土小学校	真理	昭和60.3.吉日	1段 総高1.21×1.705×0.15	
g	3	荒土小学校	校舎改築記念	昭和60.3.吉日	不要	プレート
g	4	荒土小学校	(校歌碑)	昭和60	2段 総高1.50×1.84×0.15	
g	5	荒土小学校	記念樹	(昭和61)	1段 総高0.51×0.15×0.12	
g	6	荒土小学校	(組合設立記念碑)	昭和62.3	1段 総高0.75×0.83×0.39	
g	7	荒土小学校	悠々と遊々と	平成15.3	1段 総高0.80×0.12×0.12	
g	8	荒土小学校	(創立百周年記念樹)	平成21.5.吉日	1段 総高0.98×0.12×0.12	
g	9	荒土小学校	二宮尊徳像	無	不要	
g	10	北部中学校	第一回卒業記念植樹	昭和33.3	1段 総高0.30×0.15×0.15	
g	11	北部中学校	第二回卒業生記念植樹	(昭和34)	1段 総高0.25×0.41×0.15	
g	12	北部中学校	はるかなる道をゆくわれら強し	(昭和44)	不要	プレート
g	13	北部中学校	創立二十周年記念樹	昭和54.10.1	1段 総高0.59×0.11×0.11	
g	14	北部中学校	歳月	昭和58.3.吉日	1段 総高1.37×0.69×0.47	
g	15	北部中学校	絆 卒業記念の庭	(昭和59)	2段 総高0.87×0.13×0.12	
g	16	北部中学校	(校門寄贈)	昭和61.10	不要	プレート
g	17	北部中学校	永久の灯	(昭和63)	1段 総高0.59×0.53×0.30	
g	18	北部中学校	卒業記念植樹	平成1.3	1段 総高0.45×0.12×0.12	
g	19	北部中学校	飛翔	平成2	1段 総高0.61×0.11×0.11	
g	20	北部中学校	敬愛	平成3	1段 総高0.45×0.21×0.12	
g	21	北部中学校	(平成八年度卒業生記念)	平成8	2段 総高1.42×0.81×0.81	

表34 荒土地区学校沿革

設立年	西暦	学校名	場所	備考
明治13年	1880	中ノ橋小学校	布市	布市・清水島2区が青郊小学校より独立し設立。19年鶴生小学校に併合
明治6年	1873	鶴生小学校	松田	松ヶ崎・新保・松田・田名部・北新在家5区で設立。13年に布市・清水島区加入。24年廃校、荒土小学校に統合
明治8年	1875	細野小学校	細野	細野(戸倉・境・西ヶ原・新道)区が設立。19年別所区加入。24年以降は細野・細野口・別所3区で
明治8年	1875	細野口小学校	細野口	細野口・北宮地・別所3区で設立。明治19年に別所区分離。同24年細野小学校に統合
明治24年	1891	荒土小学校	伊波	鶴生小学校と壇ヶ城小学校は廃校。新設荒土小学校に。25年田名部・布市・清水島・北新在家区の分教場を清水島に置く。31年3区独立して清水島小学校を置く。43年に細野小学校・清水島小学校を合併。細野に分教場を置く
明治31年	1898	清水島小学校	清水島	布市・清水島・北新在家3区で設立
明治11年	1878	壇ヶ城小学校	(堀名伊波)	檜曾谷・堀名中清水・伊波・妙金島4区が松尾小学校から分離し成立、19年森川・志比原・西妙金島区も加入。23年に松尾小学校が再設されたため堀名中清水・妙金島・伊波3区だけとなる。24年伊波に移り荒土小学校と改称、北宮地区加入
昭和22年	1947	荒土小学校	伊波	新学制
昭和22年	1947	荒土中学校	松田	～31年迄
昭和32年	1957	北部中学校	伊波	北郷・鹿谷・荒土の3中学校合併し設立

8-1 希望



希望

(裏)

校舎改築落成記念

昭和六十年三月吉日

日本特殊織物株式会社

社長 江守武雄

昭和六十年：一九八五年。

8-2 真理



真理

乙丑初夏土籠書

(刻印)

(裏)

贈 訓碑(まこと)

荒土小学校校舎改築記念

昭和六十年三月吉日

PTA会長 福田 義一

同 副会長 下牧 政信

同 副会長 黒田 巖

同 副会長 木下 元子

PTA建設委員長 中村 国雄

同副委員長 笠羽 洋七

第二十代校長 田中 繁康

8-3 校舎改築記念



勝山市荒土小学校

校舎改築記念

施工 昭和六十年三月吉日

(株) 島田資材

社長 島田藤治

814 (校歌碑)



校歌

作詞 鰐渕建之

東に遠く白根岳
西には近く九頭竜龍を
望みてたてる学舎は
われらが母校荒土校
理想は高し山のごと
意気盛んなり川のごと
郷土の栄え身において
いざやはげまんわが友よ
心は清く身はたけく
日ごとの訓を守りつつ

真理の道を一すじに
いざや進まんもろともに

雲洞題

(裏)

昭和十六年大楠公像

昭和六十年校歌碑

大阪市東区南久宝町五丁目

新在家出身

竹内稔

815 記念樹



記念樹

昭和六拾年卒業生

816 (組合設立記念碑)



荒土小学校

簡易保険組合 設立

農協共済組合

昭和62年3月

(裏)

P T A 会長 松山 正則

副会長 島田 英治

丹後長兵衛

特別委員長 袖川 源也

8-7 悠々と遊々と



悠々と遊々と 第九十三回卒業生
平成十五年三月記念植樹

平成十五年…二〇〇三年。

8-8 (創立百周年記念樹)



勝山市荒土小学校創立百周年記念樹

(裏)

平成二十一年五月吉日

はなみずき 二本

緑の募金による植樹

勝山市緑化推進委員会

8-9 二宮尊徳像



8-10 第一回卒業記念植樹



第一回卒業記念植樹

(裏)

昭和三十三年三月

8-11 第二回卒業生記念植樹



第二回
卒業生記念植樹

g-12 はるかなる道をゆくわれら強し



はるかなる
道をゆく
われら強し

(裏)

昭和四十四年度卒業生一同
昭和四十三年度卒業生一同
昭和四十二年度卒業生一同

題字 澤田治衛
製作 笠原行雄

g-13 創立二十周年記念樹



創立二十周年記念樹

(裏)

昭和五十四年十月一日
勝山市立北郷小学校

g-14 歲月



歲月

(裏)

昭和五十八年三月吉日

贈 第二十六回卒業生一同



g-15 絆 卒業記念の庭

絆 卒業記念の庭

(裏)

昭和五十八年度卒業生

g-16 (校門寄贈)



贈

株式会社勝山管工

三町内有志一同

卒業生有志一同

昭和61年10月

g-17 永久の灯



(裏)

永久の灯

昭和六十二年度

卒業生一同

g-18 卒業記念植樹



卒業記念植樹

(裏)

平成元年三月

第三十二回卒業生

g-19 飛翔



飛翔

(側面)

平成元年度

第三十三回卒業生一〇四名

g-20 敬愛



敬愛

(裏)

平成二年卒業生一同

g-21 (平成八年度卒業生記念)



平成八年度卒業生

8節 北郷地区

表35 北郷地区

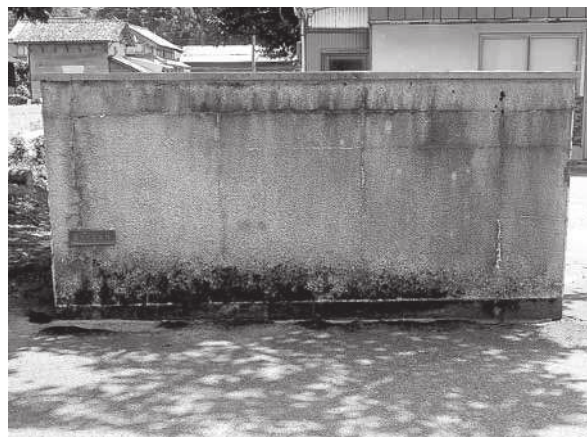
記号	番号	名称	学校名	設置年月日	寸法 (m)	備考
h	1	(校門寄贈)	北郷小学校	昭和41.4	不要	プレート
h	2	飛躍	北郷小学校	昭和61.3	2段 総高0.96×1.19×0.10	
h	3	二宮尊徳像	北郷小学校	無	不要	

表36 北郷地区学校沿革

設立年	西暦	学校名	場所	備考
明治6年	1873	松尾小学校	森川	森川・志比原・檜曾谷・堀名中清水・西妙金島・伊波・妙金島7区で設立。11年檜曾谷・堀名中清水・伊波・妙金島区が独立。19年森川・志比原・西妙金島区も壇ヶ城小学校に入る。松尾小学校は一時廃校に、23年森川・志比原・西妙金島・檜曾谷4区で再開設
明治7年	1874	鷹巣小学校	伊知地	伊知地・坂東島・岩屋・東野4区で設立。19年岩屋区分離
明治20年	1887	岩屋小学校	岩屋	岩屋1区で設立。25年鷹巣小学校の分教場
明治41年	1908	北郷小学校	(東野後松會谷)	鷹巣小学校と松尾小学校を統合。伊知地・岩屋区に分教場
昭和22年	1947	北郷小学校	(松會谷後東野)	新学制
昭和22年	1947	北郷中学校	松會谷	～31年迄

昭和41年…一九六六年。

勝山市
贈 KK山本組
昭和41年4月



h-1 (校門寄贈)



寄贈 田中与四郎

h-3 二宮尊徳像

(裏)
飛躍
友情 努力
広瀬介治
乾一洋 以外三十七名略
第三十九回卒業生
昭和六十一年三月



h-2 飛躍

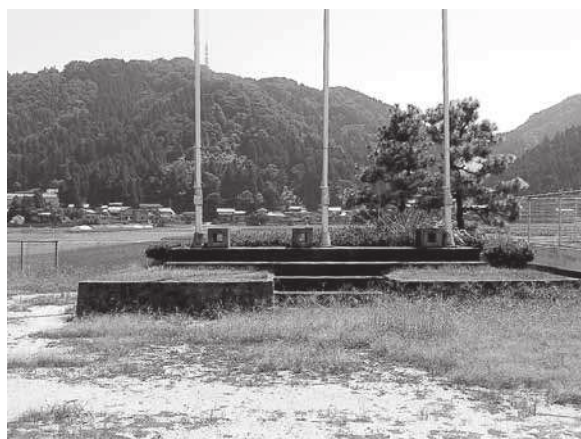
表37 鹿谷地区

記号	番号	名 称	学 校 名	設置年月日	寸 法	備 考
i	1	(国旗掲揚台寄贈)	鹿谷小学校	昭和47.8	不要	プレート
i	2	(校門寄贈)	鹿谷小学校	昭和56.6	不要	プレート
i	3	二宮尊徳像	鹿谷小学校	無	不要	

表38 鹿谷地区学校沿革

設立年	西暦	学 校 名	場 所	備 考
明治6年	1873	鹿溪小学校	矢戸口 (後本郷)	矢戸口・西光寺・北西俣・本郷・東遅羽口・西遅羽口・杉俣7区で設立
明治9年	1876	西俣小学校	北西俣	北西俣・西光寺2区で設立。17年に再度鹿溪小学校に復帰
明治8年	1875	甲淵小学校	保 田	保田・志田・発坂3区で設立。13年志田・発坂区が分離
明治13年	1880	若宮小学校	志 田	志田・発坂2区で設立。18年甲淵小学校に戻る
大正3年	1914	鹿谷小学校	本 郷	鹿溪小学校に甲淵小学校が合併されて成立。保田区に分教場
昭和22年	1947	鹿谷小学校	本 郷	新学制
昭和22年	1947	鹿谷中学校	本 郷	～ 31年迄

昭和四十七年八月
寄贈 鹿谷建設
昭和四十七年…一九七二年。



i-1 (国旗掲揚台寄贈)

昭和五十六年六月建之
贈 校門一式
昭和七年三月鹿谷尋常小学校
卒業生一同有志
施工 福井市新保町
山田石材店



i-2 (校門寄贈)



以德報徳

一木喜徳郎書（花押）

昭和十一年

寄贈

川崎辰猪

高岡市

謹作廣野市次郎

表39 遅羽地区学校沿革

設立年	西暦	学 校 名	場 所	備 考
明治6年	1873	三室小学校	(蓬生後大袋)	6年遅羽小学校と称す。比島・蓬生・大袋・崎崎・北山5区で設立。再度41年遅羽小学校と改称
明治7年	1874	下荒井小学校	下荒井	後三室小学校に併合
昭和22年	1947	三室小学校	大 袋	新学制。三室小学校と改称
昭和22年	1947	三室中学校	大 袋	～24年迄。勝山中学校に合併

6章 新規追加碑

この章は新規に見つかった人物碑4基と一般碑32基を扱った。先の報告書では勝山市に関係が深い碑であっても市外のものも除外した。今回は4基と数も少ないため県外のものも含め市外の碑も掲載した。地区別に節を設けることはせず一覧表40で全体像を示し、人物・一般碑とも地区ごとに、写真と碑文は全文を掲載した。

表40 追加石碑一覧

地区	記号	番号	名称	分類	人物(項目)名	場所	設置年月日	寸法(m)	備考
平泉寺	A	69	観空了円大徳	人物	観空了円	赤尾	無	1段 総高0.94×0.44×0.32	
平泉寺	A	70	魚塚	一般	供養	大渡	昭和49.6	1段 総高0.94×0.75×0.27	
平泉寺	A	71	赤尾のいしづえ	一般	土地改良	赤尾	平成26.3	2段 総高0.99×2.08×0.15	
平泉寺	A	72	泰澄大師草庵遺跡	一般	泰澄	大渡	昭和37.11.吉日	2段 総高1.70×0.61×0.13	
平泉寺	A	73	(陸軍省境界碑)	一般	その他	大矢谷	無	1段 総高0.42×0.19×0.19	15基
平泉寺	A	74	南無阿彌陀佛	一般	供養	平泉寺墓地	明治36.1	3段 総高2.70×0.75×0.39	
平泉寺	A	75	火葬場建築記念碑	一般	建築記念	平泉寺墓地	昭和39.10	2段 総高2.00×0.70×0.11	
猪野瀬	B	29	勝山道	一般	道標	上高島	無	1段 総高0.60×0.12×0.12	
勝山	C	104	祖先西脇糺碑	人物	西脇糺	元町国泰寺境内	明治38.9	4段 総高2.16×1.10×0.16	
勝山	C	105	木下氏之塚	人物	木下善八	本町西宮寺境内	明治23.5.9	3段 総高1.70×0.90×0.24	
勝山	C	106	故友安恵光碑	人物	友安恵光	本町尊光寺境内	明治	3段 総高2.15×0.67×0.09	
勝山	C	107	(元禄四年小堂原家臣寄進神明社灯籠)	一般	灯籠	元町神明社境内	元禄4.11.吉日	総高0.67	
村岡	D	29	村岡山古戦場無縁仏の墓	一般	供養	寺尾	昭和40.7	2段 総高0.64×0.18×0.18	
村岡	D	30	(浄土寺水上神社燈籠)	一般	灯籠	浄土寺水上神社境内	正徳5.8.吉日	2段 総高0.96×0.22×0.22	2基
野向	E	35	安穩	一般	供養	北野津又	平成21.6	2段 総高0.51×0.87×0.09	
野向	E	36	合月石観音堂	一般	建物跡	薬師神谷	無	2段 総高1.38×0.20×0.20	
野向	E	37	逃谷小場	一般	説明案内	北野津又	平成13.4.吉日	1段 総高0.90×0.18×0.18	
野向	E	38	新保峠の地藏さん	一般	宗教民俗	横倉	平成28.10	1段 総高0.70×0.21×0.20	
北谷	F	14	森下藤左衛門追悼之碑	一般	森下藤左衛門	中野俣	平成3.9	2段 総高1.11×0.77×0.11	
荒土	G	33	置局功績顕彰碑	一般	建物	北新在家	昭和55.9	3段 総高2.57×0.74×0.17	
荒土	G	34	道祖神	一般	宗教民俗	新保	平成1	1段 総高0.62×0.56×0.31	2基
荒土	G	35	東久邇宮稔彦王殿下御宿営記念	一般	皇室	伊波	大正10.11	2段 総高2.78×0.30×0.19	
北郷	H	46	南無阿彌陀佛	一般	森景義雄	坂東島	天保13.6.12	1段 総高1.60×0.56×0.27	
鹿谷	I	35	道路記念碑	一般	道路改修	志田	昭和9.8	3段 総高3.58×0.72×0.42	
鹿谷	I	36	鹿溪小学校創立之地	一般	建物跡	矢戸口	無	1段 総高0.66×0.18×0.12	
鹿谷	I	37	薬師前清水	一般	説明案内	杉俣	無	1段 総高1.07×0.20×0.20	
鹿谷	I	38	(矢戸口白山伏拝み)	一般	宗教民俗	矢戸口	明暦5.天保13.戊子3		3基
遅羽	J	22	(通学道安全祈願祭碑)	一般	その他	大袋	平成14.10.吉日	1段 総高0.96×0.15×0.13	
遅羽	J	23	三宝山城址	一般	建物跡	嶗崎	無	1段 総高1.10×0.11×0.11	
遅羽	J	24	神奈備の磐座	一般	宗教民俗	嶗崎	無	1段 総高0.96×0.12×0.13	
遅羽	J	25	南無阿彌陀佛	一般	供養	下荒井	無	1段 総高0.55×0.46×0.12	
遅羽	J	26	不動明王跡地	一般	建物跡	下荒井	平成5.9.吉日	4段 総高1.62×0.50×0.12	
永平寺町	K	1	白山権現伏拝	一般	泰澄	小舟渡駅	無	1段 総高1.10×0.16×0.15	
大野市	K	2	(松平直良供養碑)	一般	供養	大野市木本	無	3段 総高1.71×0.24×0.15	
大野市	K	3	南無阿彌陀仏	一般	供養	東市布 油坂峠	安政5	3段 総高1.78×0.35×0.34	
県外	K	4	新羅公墓碑	一般	供養	滋賀県大津市	明治12.5.25	2段 総高2.36×0.93×0.045	

A-69 観空了因大徳



観空了因大徳

A-70 魚塚



魚塚

(裏)

昭和四十九年六月

昭和四十九年…一九七四年。料理屋を営み魚供養のため建てる。

A-71 赤尾のいしずえ



赤尾農業農村整備事業完成記念

赤尾のいしずえ

平成26年3月 赤尾区

(裏)

当赤尾区は、古来より中山間地に属する農村であったが、近代的農業に対応するため、

第一次農業構造改善事業として赤尾笹尾共同施工により、昭和四十四年から四十九年にかけて、昔からの不整形の水田の区画整理と農道、用排水路の整備を実施した。改良圃場面積は、赤尾区が三十五・七ha、笹尾区が十七・

七ha。事業費は一億九千五百万円であった。ここに、大型機械の導入と共同作業による

集落営農の基盤ができあがり、当区では、直ちに第二次農業構造改善事業に取り組み、昭和五十年には、他に先がけて機械共同利用組合を誕生させた。

次に、平泉寺南部七集落で勝山東部土地改良区を結成し、昭和五十六年から平成七年にかけて、県営農村総合基盤整備事業に着手。当区では、主として農村生活環境整備事業に取り組んだ。

主な事業は農村公園（平成三年三月）、ふれあいセンター（平成四年八月）、農道舗装、営農飲雑用水、旧大堤の拡張改良等で七集落の全体事業費は、十八億六千二百万円であった。特に農村環境に大きく寄与したのは本事業による上水道とその後の下水道の供用開始（平成十九年）である。

第三回目は、県営赤尾営林体育成基盤整備事業である。土地改良以来四十年、用排水路の老朽化がひどく、さらに当区積年の悩みで

あった水不足、これらを解消するため、平成二十年から二十五年にかけて七億八千万円の事業費で、新大堤（内一億七千八百万円）の新設と用排水路の抜本的な改修を行った。なお、平成二十一年二月には、従来の二つの農業機械共同利用組合を解消し、作業の共同化と生産性の向上を目指し「農業組合法人・農楽の郷あかお」を設立した。

平成26年：二〇一四年。

A-72 泰澄大師草庵遺跡



泰澄大師草庵遺跡

(裏)

昭和三十七年十一月吉日

施主 上山太右衛門三男

大阪 上山太郎右衛門
世話人 上山首計

A-73 陸軍省



陸軍省
(裏) 境界

A-74 南無阿彌陀佛



南無阿彌陀佛

(側面) 明治三十六年一月

(側面) 寄附人

刻士

山田與三松

林 五市

明治三十六年：一九〇三年。

A-75 火葬場建築記念碑



火葬場建築記念碑

(裏) 昭和二十九年十月建設 平泉寺區

牧 下 甚之丞

世話人

原 藤右衛門

中村 亀次郎

鳥山 圓忠

一組 大林 市三郎

二組 小林 朔之助

三組 武内 康孝

四組 中山 又右衛門

五組 中田 圓松

六組 亘 武夫

七組 田中 運太郎

八組 中村 力太

九組 中村 盛男

十組 石黒 憲次

十一組 平林 秀治

十二組 江端 榮蔵

築炉請負人 岡本 利一

建築請負人 杉山 一榮

B-29 勝山道



勝山道

(側面) 猪野瀬村上高島

(側面) 猪野瀬村若猪野

C-104 西脇糺碑



祖先西脇糺碑

祖父西脇勝時通稱蘭之助世事勝山侯有十一子家嚴
糺其第五子以嘉永三年庚戌正月十二日生幼名五六
壯而改今名號枕水資性温厚有執務之材而志常在實
業明治初年拜命某學訓導終始十年薰陶育秀有可見
突然而不欲永違初志明治十三季超然決意委身於實
業當此時受西南戰役後財政衰頹之餘弊商家鎖店者
相踵家嚴善處其間操縱甚努勞々役々具嘗辛苦遂排
百難家道漸起明治卅年義金于勝山勸業費官賜木杯
以賞之廿八年舉於勝山町會議員尋大日本武徳會福
井縣支部委員私立衛生會評議員及所得稅調查員皆
以見任焉常誠兒輩曰凡人當先自修自立而後盡於公
自為家以來殆三十年居常躬踐此言以率兒女二男一
女伯曰靜為福井高等女學校教諭仲曰得三任陸軍醫

官從日露戰役今在旅順女春枝出嫁石川氏兄徳三今

茲盛夏不得賜歸休定省望郷之餘切思家嚴之勞苦而

不能忘乃請勤梗概以樹碑時距其生五十六年辭曰

翠松翁鬱 龍蟠山の青嶂 固帶深根 枝葉繁榮

明治三十八年秋九月

男 西脇得三 謹撰

男 西脇 靜 謹書

(裏) 四十無聞を愧とかや

耳順に近き飯袋子の予が来由を

兒等碑に刻めるを見て觀相の下に

佇むこと久し

聞か声こそ

眠り安かれ

秋乃風

生春亭

枕水

C-105 木下氏之塚

糺は勝山藩士西脇蘭之助の五男として嘉永3年
(1850)に生まれた。福井県を代表する書家
西脇静(呉石)の父で勝山町會議員などを勤めた。





C | 106 友安恵光碑

木下氏之塚

発起中

河原製糸絲場創立人木下氏諱善八勝山下後人也
 為人剛直謀事必遂焉明治十八年創立製絲場
 於河原其成也[所]須之[用]器皆具既而工女來就
 業者常三十余人亦可謂成盛美之事矣去歲
 冬十二月九日不幸病而[死]年五十有四諡曰開善
 長男仁之助追悼不止而擬立塚於場畔工女亦
 請資助焉茲年會一周諱辰乃相俱謀建之
 于時明治廿三年五月九日也
 龍河流無止 製糸興此長
 一身婦四大 千載美名芳



C | 107 (元禄四年小笠原家臣寄進神明社灯籠)

故友安恵光碑

門弟中

(裏)

発起人

明治四十二年七月一日残之
 中村[匠]吉
 坂下三作
 松原茂市
 鎌田嘉六
 榊原与七
 新道与吉



D | 29 村岡山古戰場無縁仏の墓

奉 寄進

石燈籠

元禄四年

伴助石衛門貴長

常葉六郎左衛門貴平

辛未十一月吉日

(側面)

奉修造

林

秋八月

(裏)

村岡山古戰場無縁仏の墓

昭和四十年七月建之

施主

斎藤さき

斎藤吉信

D-30 (浄土寺水上神社燈籠)



正徳五 乙未
奉建立 燈籠
八月 吉日
三四良

正徳五年…一七一五年。

E-35 安穩



(裏)
安穩

火葬場跡の碑

古に、区の火葬場が
この地(超戸)に建て
られ、昭和四十三年ま
で使用されていたが、
それ以降は勝山市の
火葬場を使用するよう
になり廃止となる。
跡地に碑を建立し永代
まで哀悼の意を表す。

平成二十一年六月建立
北野津又区

E-36 合月石観音堂



合月石観音堂

地元の方の話では以前は白山神社の碑が建っ
ていたという。宝暦9年(1759)の郡上領
下郷明細帳には白山堂とある。現在は観音像が
祀られている。

E-37 逃谷小場



逃谷小場

上 石休場

下 芝草

(裏) 平成 十三年四月吉日

かたわらに逃谷休場と刻まれた石あり。

E-38 新保峠の地藏さん



新保峠の地藏さん

(側面) 寄進 建屋等一式 (株)西出建設

(側面) 平成二十八年十月 横倉区

(裏)

元禄八年(一六九五)山論裁許絵図に新保峠・

古峠(大日峠)と記され、加賀新保との交流

の道であった。

F-14 森下藤左衛門追悼碑



遠祖森下藤左衛門追悼之碑

平成三年九月建立

青木 稔

治子

毬子

(裏)

あしだふみ

おどるむらびと

今は絶え

やしらの庭に

とちの実哀し

みのり作

G-33 荒土郵便局置局功績顕彰碑



荒土郵便局置局功績顕彰碑

参議院議員

郵政大臣

山内一郎書

(裏)

碑文

当地方の通信文化の発展に寄与せんと木下勘治(32才)郵便局設置を發意 昭和14年4月以来

関係各位の強力な応援を得て名古屋通信局及び
通信省に荒土郵便局置局を請願陳情を続け漸く
大東亜戦争勃発直後の 昭和17年1月16日開局
となり多年の宿願が達成した 茲に当時の功績
を永く顕彰するための碑を建立

局設置協力者

衆議院議員 斎藤直橋殿

福井市長

逋信大臣官房 西 利一殿

秘書官

福井県議会議員 恩地政右工門殿

高椋村長

丸岡郵便局長 津田寿紀殿

竹田郵便局長 辻端彦一殿

昭和17年1月16日逋信省辞令により特定郵

便局長木下勘治初代局長拝命

昭和17年1月16日假局舎有原宅で事務開始

同17年8月局舎完成

同19年12月逋信電話開通

同20年12月先代義穂を襲名

同21年2月電話交換開始

同50年8月新局舎完成

同51年6月退転68才

同51年7月木下立夫局長就任

建立発起人

木下光一 木下茂之 木下 元

昭和55年9月

G-34 道祖神



荒土町新保

(裏) 山田秀志作

平成元年

G-35 東久邇宮稔彦王殿下御宿宮記念



東久邇宮稔彦王殿下御宿宮記念
(裏) 大正拾年十一月建之

H-46 南無阿弥陀佛



南無阿弥陀佛

(天保) 十三壬寅 六月十二日

积義雄

天保十三年：一八四二年。森景道場の森景義雄により建立され傍らに地藏尊あり。

1-35 道路記念碑



道路記念碑
福井県知事 近藤駿介書

(裏)

玉崎璋氏
氏ハ傳右エ門ノ嫡子明治二十年十月廿五日生ル
性温厚兼テ衆望ニ依リ福井縣會議員其他
ノ名譽職ニ推挙セラル正義一貫社会公
共ノ為ニ盡瘁セラレ其功績實ニ大ニシテ
タク其ノ徳 勞ニ酬ユ

昭和九年八月建之

璋は明治二十年（一八八七）志田村の旧家玉崎
伝右衛門家に生まれた。県議員や鹿谷村村長
を勤めた。

1-36 鹿溪小学校創立之地



鹿溪小学校創立之地

(裏)

明治七年組合立学校設置せられてから明治三
十一年に本郷ラントへ移転までの二十五年間
の校地の址である。

1-37 薬師前清水



薬師前清水

(側面)

この清水は中部縦貫自動車道建設に伴い
二〇〇八年度に水飲場として建設された。

(側面)

白山神社地跡 杉俣二二字薬師前

1-38 矢戸口白山伏拝み



(右)

明(和五年カ)

白山

國子三月 大田村

甚右衛門

(真中)

天保十一戌年(ママ)

三月

(左)

白山伏拝(拝)

明和五年…一七六八年。天保十一年…一八四〇年。

J-22 (通学道安全祈願祭碑)



平成十二年九月十日

祝 通学道安全祈願祭

(裏)

平成十四年十月吉日

勝山市議会議員

野尻佐太郎

J-23 三室山城址



三室山城址

戦国時代末期の一向一揆の砦跡

J-24 神奈備の砦座



神奈備の砦座

J-25 南無阿弥陀佛



南無阿弥陀佛

両脇に地藏様、片方のは顔面を欠く。

J-26 不動明王跡地



不動明王跡地

(裏)

平成五年九月吉日

下荒井薬師神社へ移転合祀

下荒井氏子一同

K-1 白山権現伏拝



白山権現伏拝 藤巻村地上

K-2 松平直良供養碑



法名 松巖院殿光山徹源大居士

(裏) 高橋乙松

他は判読不能

K-3 南無阿弥陀仏



南無阿弥陀仏

(裏)

安政五年

十月穀旦

願主

大野

勝山

世話方

商人中

白鳥

安政五年…一八五八年。



新羅公墓碑

今上御世之初廢公卿諸侯之稱為華族又類別其宗族以起理之
吾同宗列為華族者十有八家實係於新羅源公之裔嗚呼吾祖遺
澤之遠子孫蕃滋受國之榮寵以至於今為之裔者可不致追遠之
誠哉於是同宗胥議使從五位南部信民及不肖義堯來奠公墓墓
在近江國滋賀郡別所村官林中地舊屬園城寺寺中間乱世祭祀不
修尋為封建之制各家守其土不能擅越封疆遂曠展墓之禮者數
百年丘隴為篠蕩所沒然其封樹歸存徵之舊記其為公墓審矣因
正瑩域設柵垣建碑以銘之併記十有八家姓名於碑陰乃約各家
子孫歲時更來以致祭奠焉謹按公諱義光穰新羅三郎伊豫守諱
賴義之子以勇智多藝顯於世初為左兵衛尉金澤之役聞兄義家
戰不利辭官赴援遂成平賊之功後歷刑部丞左馬允常陸介甲斐

守等至刑部少輔叙從五位下常居于園城寺大治二年十月二十
日卒享年七十三因葬于此銘曰

墓雖古兮封樹識 裔雖遠兮本文昌

封樹識兮祀不絕 本文昌兮慶無疆

明治十二年五月廿五日 裔孫從三位 佐竹義堯謹撰并篆額

裔孫從五位 小笠原長守 謹書

(裏)

正四位竹内治則

從四位柳澤保申

從四位佐竹義脩

正五位南部利恭

從五位米倉富吉

從五位小笠原貞孚

從五位柳澤光邦

從五位溝口直正

從五位柳澤德忠

從五位佐竹義理

正五位南部信方

從五位小笠原忠忱

從五位松前修廣

從五位小笠原長育

從五位小笠原賢之進

從五位小笠原壽長

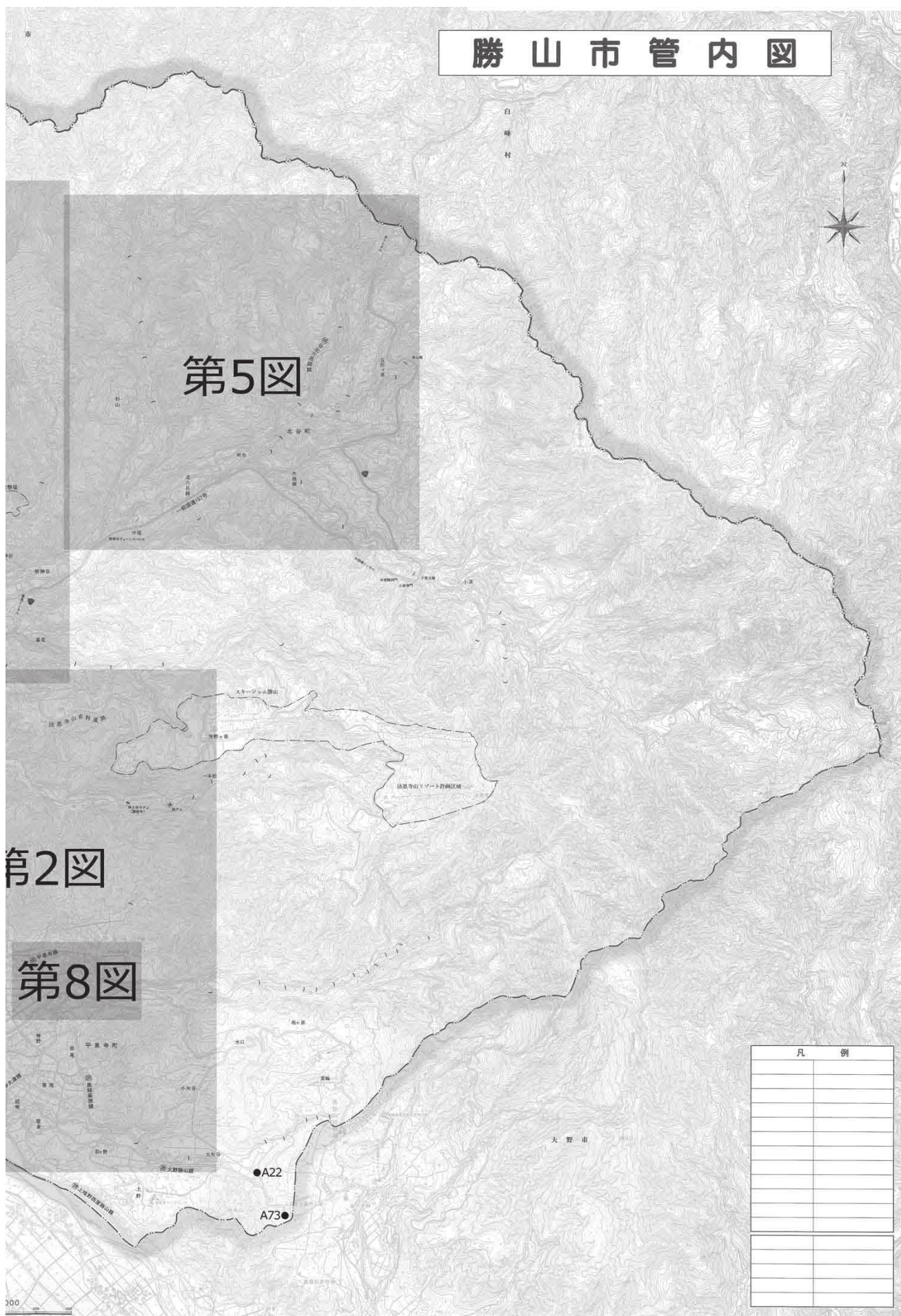
五嶋源二郎

南部利克

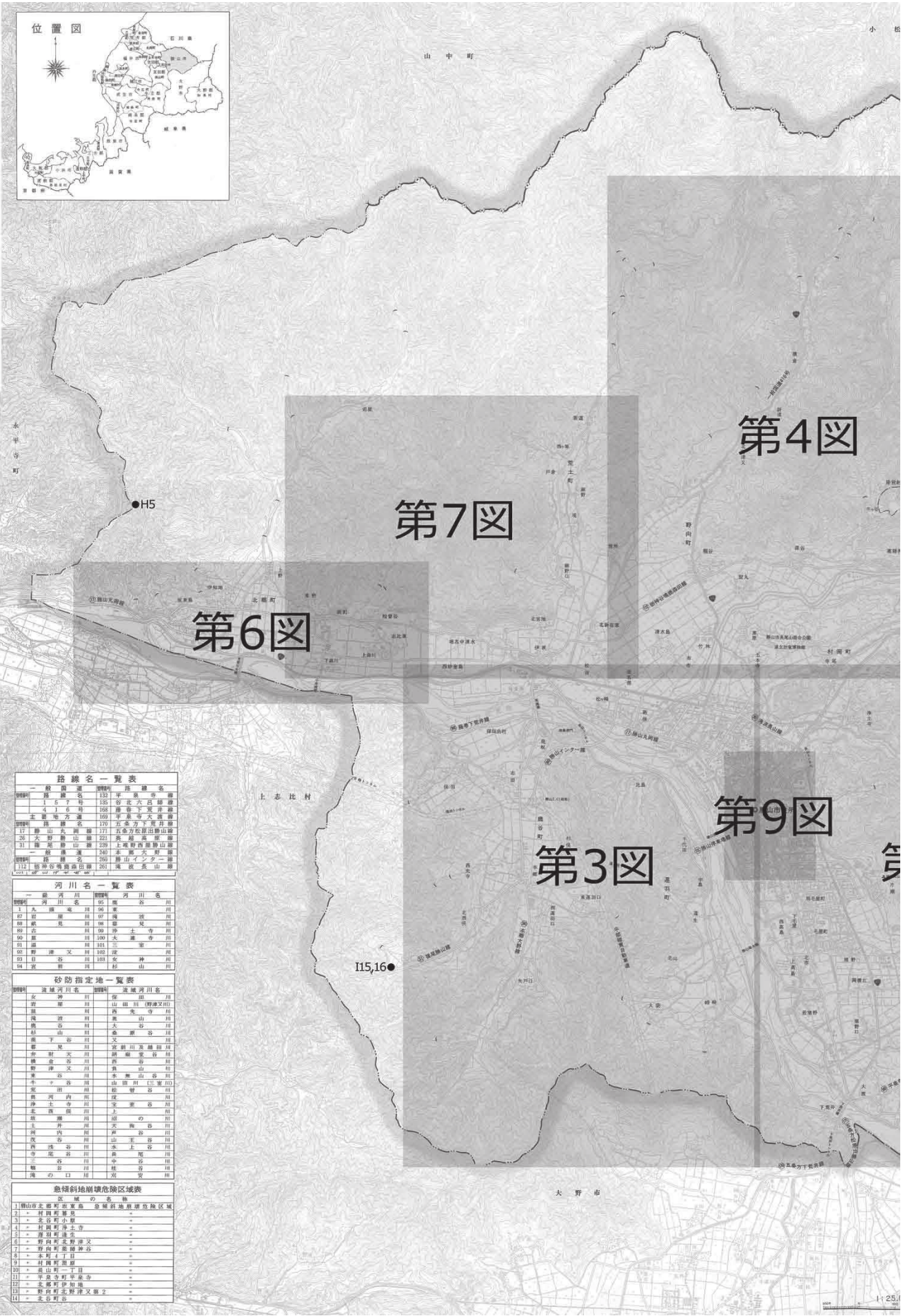
石工 西村善八

(側面)

石碑の位置図・学校写真



第 1 図 勝山市全体図

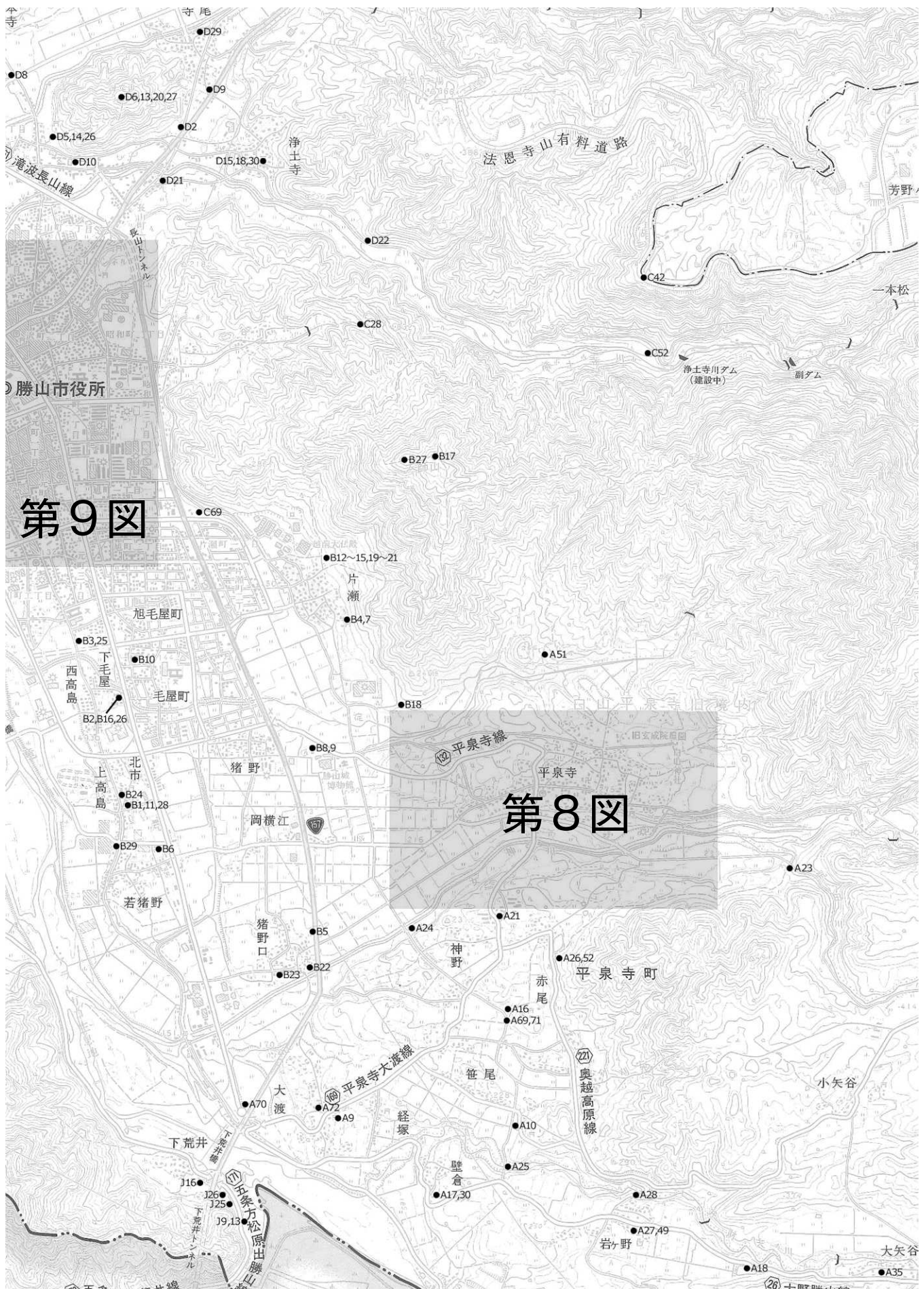


一般国道	支線	特別区	市道	町道	村道
167号	185号	谷北六呂線	4丁6号	168号	下野井線
支線地方道	169号	志比長山線	170号	志比長山線	171号
支線地方道	172号	志比長山線	173号	志比長山線	174号
支線地方道	175号	志比長山線	176号	志比長山線	177号
支線地方道	178号	志比長山線	179号	志比長山線	180号
支線地方道	181号	志比長山線	182号	志比長山線	183号
支線地方道	184号	志比長山線	185号	志比長山線	186号
支線地方道	187号	志比長山線	188号	志比長山線	189号
支線地方道	190号	志比長山線	191号	志比長山線	192号
支線地方道	193号	志比長山線	194号	志比長山線	195号
支線地方道	196号	志比長山線	197号	志比長山線	198号
支線地方道	199号	志比長山線	200号	志比長山線	201号

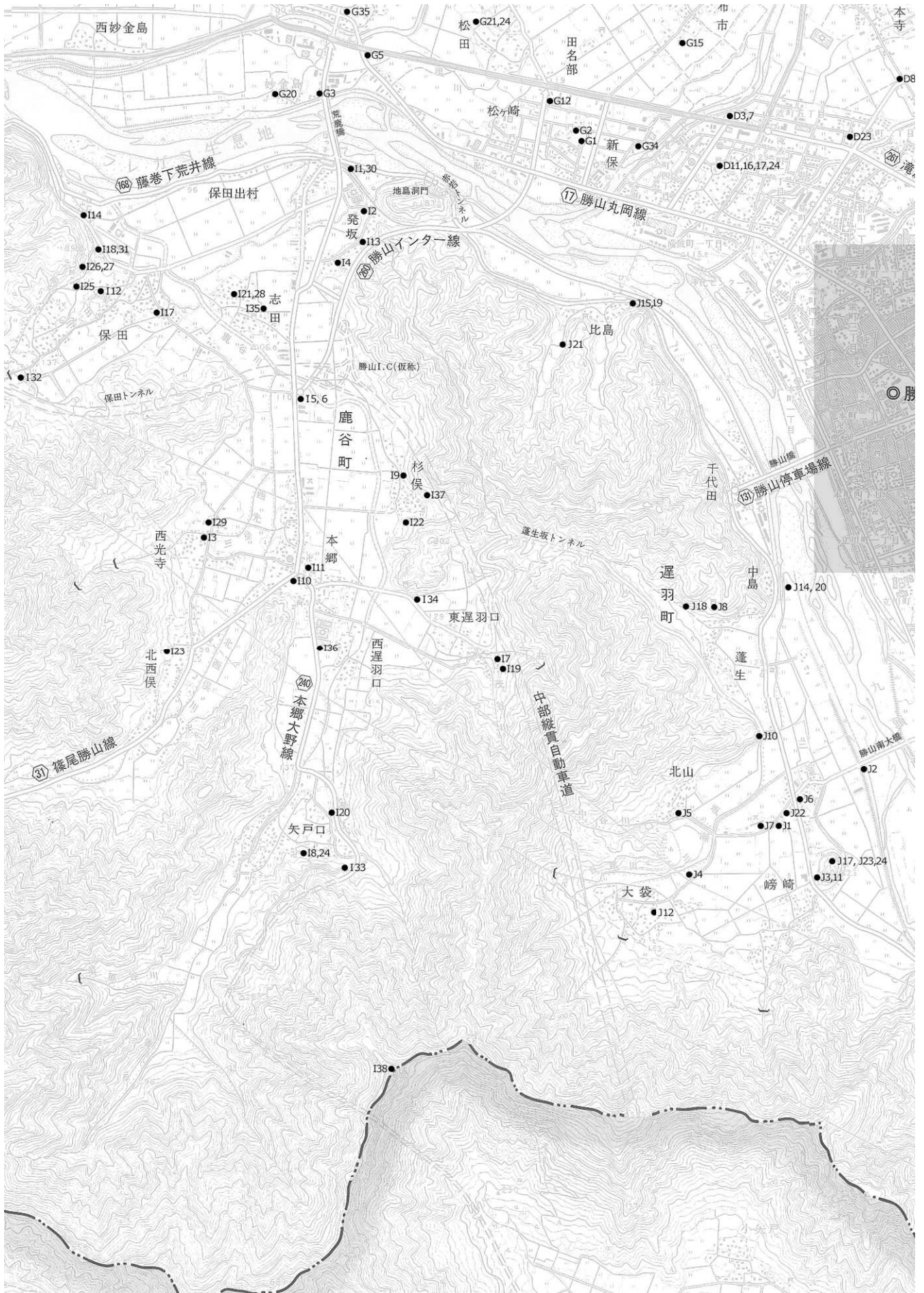
一般河川	支線河川
1	九 九 九 九 九
2	十 十 十 十 十
3	十一 十一 十一 十一 十一
4	十二 十二 十二 十二 十二
5	十三 十三 十三 十三 十三
6	十四 十四 十四 十四 十四
7	十五 十五 十五 十五 十五
8	十六 十六 十六 十六 十六
9	十七 十七 十七 十七 十七
10	十八 十八 十八 十八 十八
11	十九 十九 十九 十九 十九
12	二十 二十 二十 二十 二十
13	二十一 二十一 二十一 二十一 二十一
14	二十二 二十二 二十二 二十二 二十二

流域河川名	指定地	流域河川名	指定地
女 神 川	伊 田 川	伊 田 川	伊 田 川
三 島 川	三 島 川	三 島 川	三 島 川
北 志 比 川	北 志 比 川	北 志 比 川	北 志 比 川
志 比 長 山 川	志 比 長 山 川	志 比 長 山 川	志 比 長 山 川
...

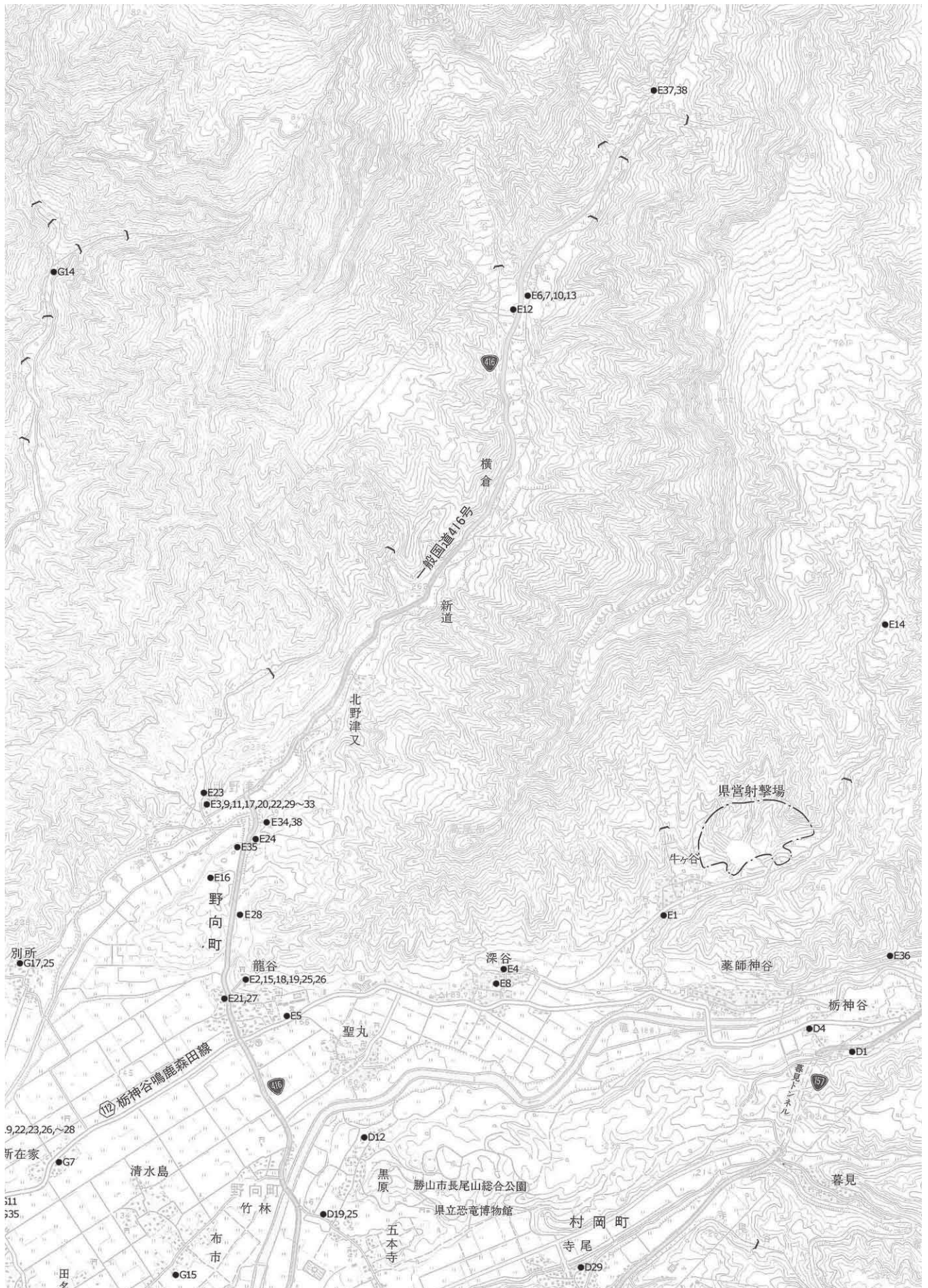
区域の名	危険区域
1	北志比町
2	北志比町
3	北志比町
4	北志比町
5	北志比町
6	北志比町
7	北志比町
8	北志比町
9	北志比町
10	北志比町
11	北志比町
12	北志比町
13	北志比町
14	北志比町



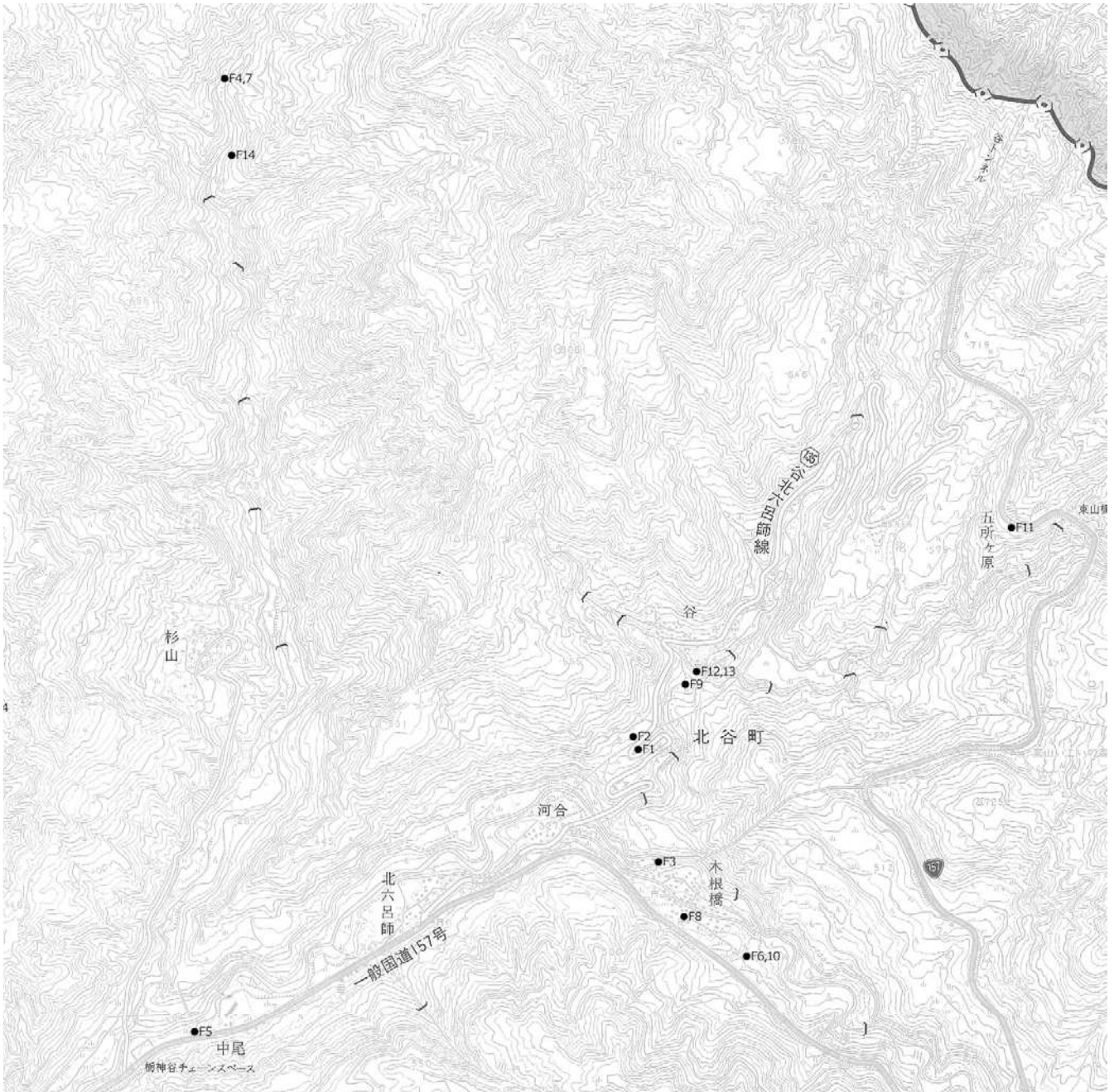
第2図 平泉寺・猪野瀬・勝山・村岡地区



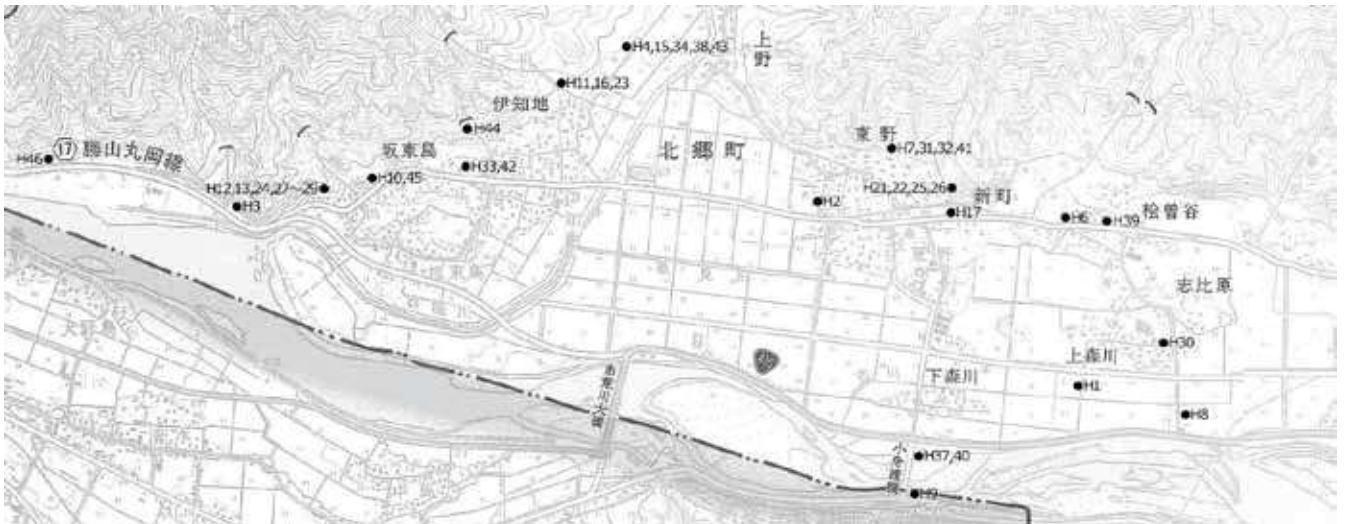
第3図 村岡・荒土・鹿谷・遅羽地区



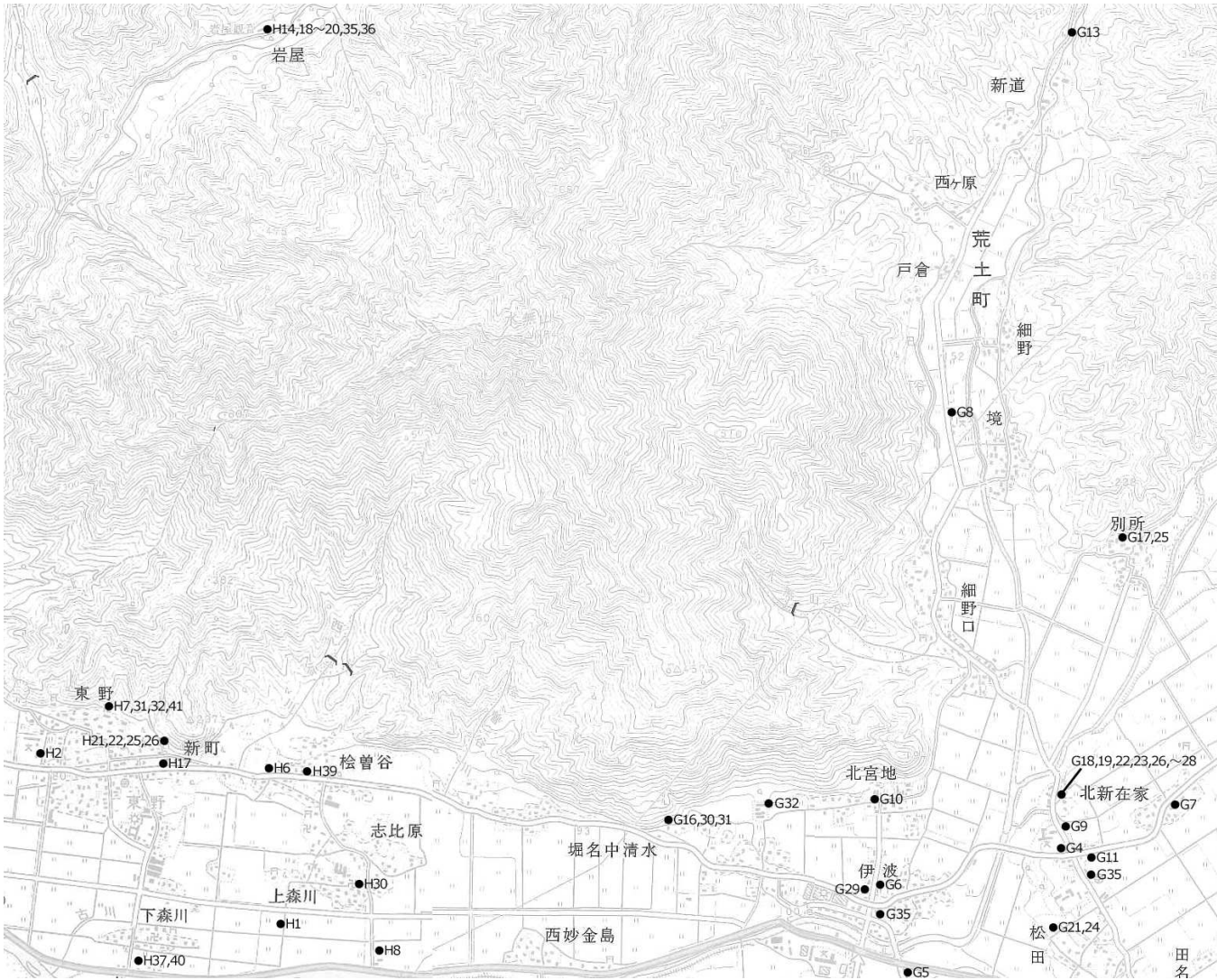
第4図 村岡・野向・荒地地区



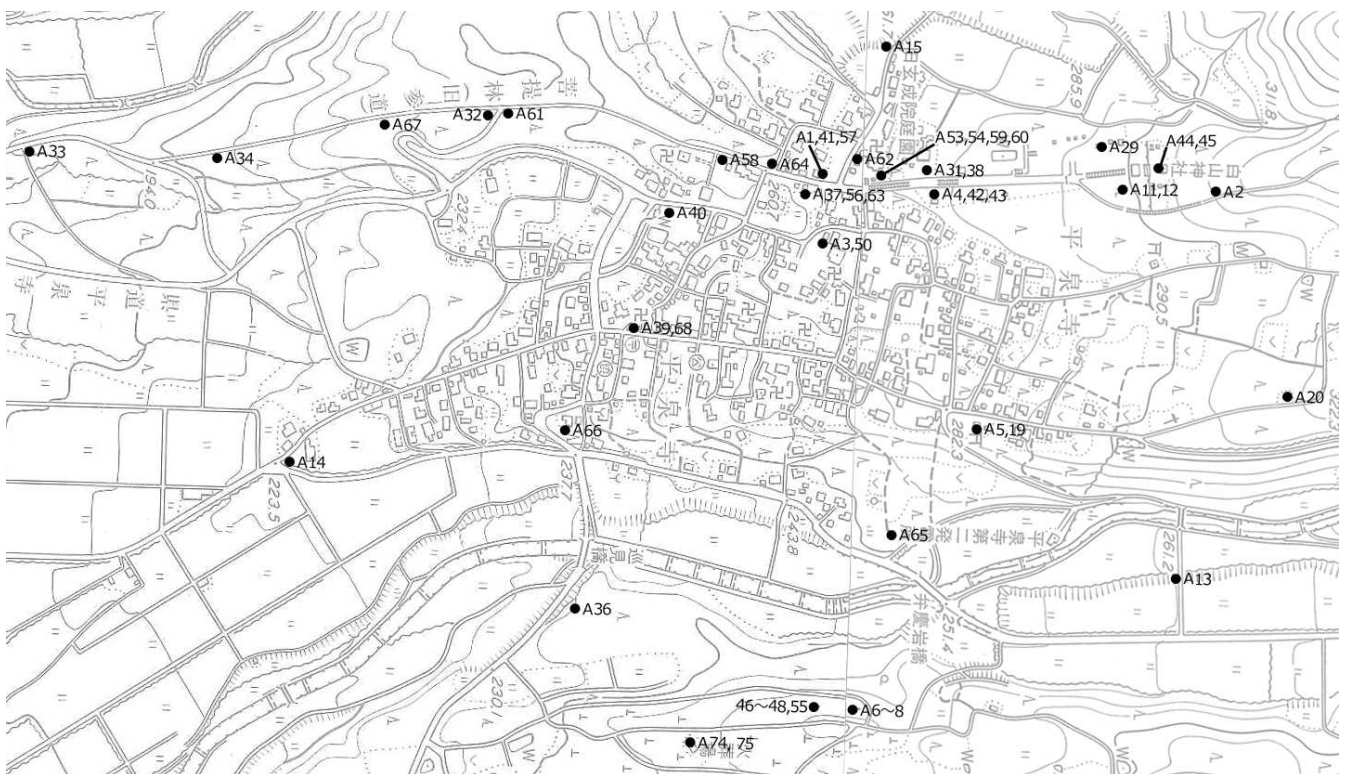
第5図 北谷地区



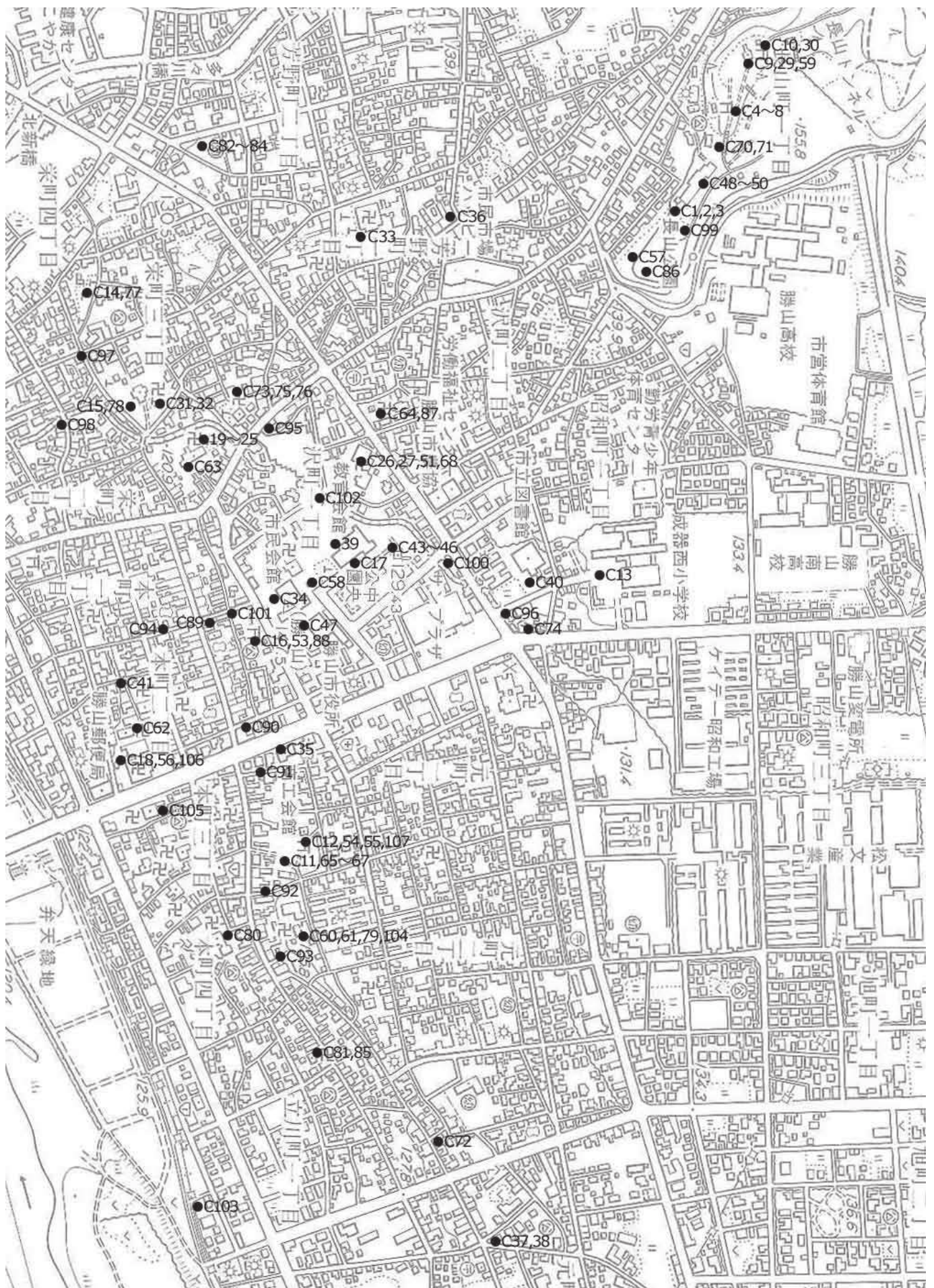
第6図 北郷地区



第7図 荒土・北郷地区



第8図 平泉寺地区拡大



第9図 勝山地区拡大



平泉寺小学校



成器女子小学校



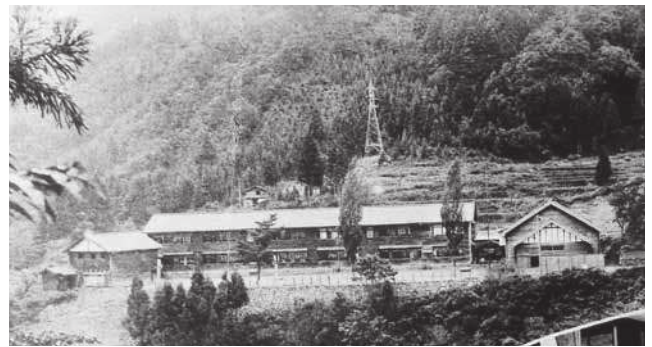
成器南小学校



村岡小学校



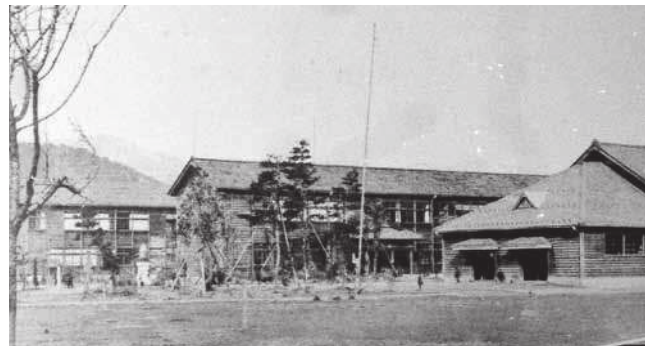
野向小学校



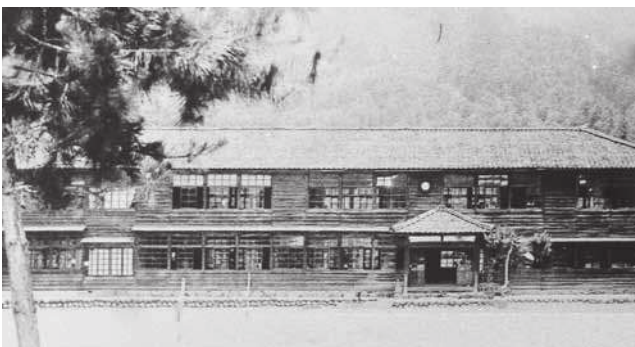
北谷小学校



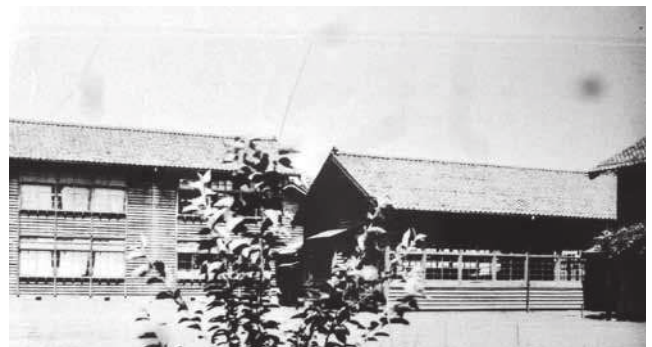
荒土小学校



北郷小学校



鹿谷小学校



三室小学校

続 勝山市の石碑

平成二十九年十月三十一日 発行

編集・発行

勝山市教育委員会史蹟整備課

福井県勝山市元町一―一―一
TEL (〇七七九) 八八―八―一三

印刷 朝日印刷株式会社

福井県勝山市昭和町三丁目一―六三―一
TEL (〇七七九) 八七―〇―二七



続 勝山市の石碑

二〇一七
勝山市教育委員会